令和３年度（２０２１年度）相談支援従事者研修

〔専門コース別研修：障がい児支援〕オンライン開催要綱

**１　目　的**

　障がい児相談支援に携わる者に対し、支援上必要とされる障がい児相談特有の視点を獲得し、相談支援の基本姿勢への理解を深める研修を実施することで、障がい児相談支援の資質の向上を図る。

　なお、障がい児相談特有の視点とは以下のとおりです。

|  |
| --- |
| ＜障がい児相談特有の視点＞  ①家族への理解と支援  障がい児相談のほとんどは保護者から寄せられます。障がいの受容や告知、障がいへの理解など子育ての葛藤や実際の困難は数多くあります。それらを理解し、保護者を含めた家族を支援する視点が求められます。  ②発達の視点  子どもの障がいは「発達のつまずき」とも言えます。保護者の困り感の背景にある、子どもの発達を理解し、支援をする視点が求められます。また、子どもは乳幼児から高校生まで幅広い年齢が対象になることから、モニタリングの指標としても発達理解は重要です。  ③支援機関との調整  子ども期は保育園、幼稚園、学校など日常的に通う場所があり、毎年のように関係機関や担当者が変わることもしばしばです。また、医療を含め多分野、複数の支援を受けるケースも増えており、それらの調整は障がい児相談にとって重要です。  ④家族の意向と本人の意向の調整  ①のとおり障がい児相談は保護者が中心になる傾向がありますが、支援を必要としているのは子ども自身です。家族と子どもの意向や希望が異なることもあり、両者の調整も大きなテーマです。また、児童虐待の増加など家庭養育が困難なケースの相談支援も少なくありません。 |

　また、この研修は、

　　〇これから障がい児に対する相談支援に携わるけど、どんなことに配慮にしたらいいのだろう？

　　〇大人に対する相談支援と児童に対する相談支援では、どのような違いがあるのだろう？

　　〇障がい児の成長にともなって、どんな問題がでてくるのだろう？

　　〇これまで、成人の事例を扱う研修を受けたことはあるけど、児童の事例についても学びたい。

　こんな思いを抱えている方にとって適した研修です。

**また、この研修は、相談支援従事者のスキルアップの研修であり、この研修を受けることで、相談支援専門員として従事できるわけではありませんのでご注意下さい**。

**２　実施主体**

北海道（北海道自立支援協議会人材育成部会）

**３　受講対象者**

以下の（１）～（４）のいずれかに該当する、パソコン又はタブレット端末で受講でき、かつＦＴＴＨ、ＡＤＳＬ回線やＷｉ－Ｆｉなどの高速インターネット接続環境が整っており、ＺＯＯＭによるオンライン会議を視聴できる方

　　（１）障害児相談支援事業所において相談支援従事者として従事している者、又は、従事予定の者

　　（２）市町村において障がい児の相談支援の業務に従事している者、又は、従事予定の者

（３）指定障害福祉サービス事業所においてサービス管理責任者として従事している者、又は、従事

予定の者

（４）指定障害児入所施設及び指定障害児通所支援事業所において児童発達支援管理責任者として従

事している者、又は、従事予定の者

**４　定　員**

９０名

**５　研修日程及び開催場所**

（１）研修日程

　　　　令和４年（２０２２年）２月１５日（火）１３：１５～１７：３０

（当日は１３：００から入室可能）

　（２）開催場所

　　　　オンライン開催（ＺＯＯＭ）

**６　受講に係る費用**

　　受講に係る費用は無料です。

**７　受講申込み方法**

|  |  |
| --- | --- |
| 申込受付期間・受講可否通知日 | 申込み方法 |
| **令和３年１２月　１日（水）～**  **令和３年１２月２８日（火）【必着】**  ＜令和４年１月２４日頃受講可否を発送予定＞ | 下記のURLにアクセスし、インターネットで申し込んで下さい。  <https://www.harp.lg.jp/>〇〇〇〇〇〇〇 |

**８　受講決定通知について**

（１）受講の決定については、北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課にて受講者を選考の上、受講可否を通知いたします。

（２）締切日必着までの申込受付分に対して、申込者の従事する業務の内容、地域の相談支援体制の実情等を考慮して選考を行います（先着順ではありません）。申込みのあった全ての方へ受講可否を通知しますので、通知予定日まで電話等による受講可否の問い合わせはご遠慮願います。

　　　なお、令和４年１月３１日（月）になっても、受講可否の通知が届かない場合は、御連絡をお願いします。

**９　問い合わせ先**

北海道保健福祉部福祉局　障がい者保健福祉課　地域支援係

　　　　　〒０６０－８５８８　札幌市中央区北３条西６丁目

　ＴＥＬ　011-231-4111（内線25-731）　ＦＡＸ　011-232-4068

　メール　hofuku.shohuku1@pref.hokkaido.lg.jp

**１０　研修プログラム**（予定）（研修内容については若干変更となる場合があります）

|  |  |
| --- | --- |
| 時間 | 研修プログラム |
| 13:00～13:15( 15分) | 接続確認 |
| 13:15～13:30( 15分) | 開講式・オリエンテーション |
| 13:30～15:30(120分) | 基礎講義：児童支援のあり方について（仮） |
| 15:40～16:00( 20分) | 実体験報告①－１　相談員の立場から①（重症心身障がい児） |
| 16:00～16:20( 20分) | 実体験報告①－２　相談員の立場から②（高校の生徒） |
| 16:20～17:20( 60分) | 実体験報告②　　　親の立場から（鼎談） |
| 17:20～17:30( 10分) | 閉講式 |